

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成26年度 第3回理事会 議事録

日時：平成26年6月4日(水) 13:00～16:30

場所：JBAオフィス 8F会議室

出席：＜理事＞

深津泰彦会長職務代行、丸尾充、梅野哲雄の各副会長、星芳樹専務理事、伊藤信明、大山妙子、熊谷秀樹、坂本昌彦、佐々木三男、庄司義明、高橋雅弘、田窪徹、野村俊郎、原田茂、福井晴次、堀井幹也、吉田長寿の各理事

＜監事＞

高原洋太郎、松岡憲四郎、山崎均の各監事

＜特任委員＞

小倉恭志、片山正明、西井歳晴、林直樹の各特任委員

欠席：麻生太郎会長、大神訓章、品田奥義、鈴木秀太、水谷豊、吉田利治の各理事、内山英司、上島正光の各特任委員

オブザーバー：山見博康裁定委員会委員長、望月浩一郎裁定委員会委員、金井克仁弁護士・裁定委員会委員

議題

- (1) 平成25年度事業報告について
- (2) 平成25年度決算報告について
- (3) 役員報酬について
- (4) 名誉会長、名誉顧問、顧問および参与の推薦手続きについて
- (5) 定時評議員会の開催について
- (6) 大会要項について
- (7) 男子国際親善試合2014 チーム編成について
- (8) 男子U-18日本代表チームについて
- (9) 女子U-17日本代表チームについて
- (10) FIBA ASIA役員派遣について
- (11) FIBA決定に基づく「シャンソン化粧品のFIBA内規違反」に対する答申について

1. 定足数の報告

堀井理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(23名)の過半数の出席数(出席:17名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

2. 挨拶

深津会長職務代行より開会の挨拶があった。

3. 議事

議長は深津会長職務代行が務めた。

議案に先立ち、Pリーグの進捗状況として、bjリーグからPリーグへ向けた会議への参加条件として、「Pリーグならびにリーグ構造検討プロジェクト答申」の撤回を含む3つの条件が投げかけられ、これに対して「2016年にPリーグ(プロリーグ)を設立する」ことの方針は変わらないものの、それ以外の答申内容はNBL、bjリーグおよび各チームの意見を踏まえた上で成案を作成することなどを主旨とした内容で回答を行うことが確認された。

(1) 平成25年度事業報告について (星専務理事)

平成25年度の事業報告および事業報告の附属明細書について、資料に基づき各事業の概要が説明され、原案通り承認された。

<承認>

(2) 平成25年度決算報告について (星専務理事)

平成25年度決算全体収支は、収支計算書ベースで当初予算比82,000千円となったものの、法人税等が15,000千円、消費税確定追加支払が11,000千円となったため、税引き後では56,000千円のプラスとなったこと、その他、各部門別の収支実績が資料に基づき説明された。また、高原監事より内容は適正であったとの監査報告があり、原案通り承認された。

<承認>

(3) 役員報酬について (堀井理事)

平成26年度以降の役員報酬総額について1,500万円を上限とすることが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(4) 名誉会長、名誉顧問、顧問および参与の推薦手続きについて (堀井理事)

役員改選に伴う退任役員の処遇(名誉会長、名誉顧問、顧問および参与への推薦)を速やかに決定するため、評議員会において理事会一任の決議を行うことが提案され、承認された。

<承認>

(5) 定時評議員会の開催について (堀井理事)

「平成25年度決算報告」、「役員選任」、「退任役員の処遇」および「役員報酬」についての決議を目的とし、6月21日(土)13時より、定時評議員会を開催することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(6) 大会要項について (庄司理事)

「第49回全国高等専門学校体育大会バスケットボール競技」の大会要項が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(7) **男子国際親善試合2014 チーム編成について**（堀井理事）

2014年7月19日～21日に開催する「男子日本代表国際親善2014」に出場する男子日本代表チームについて、2015年開催のユニバーシアードへ向けた強化、東京オリンピックに向けた若手の強化を目的としてチーム編成を行うことおよびそのメンバーが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(8) **男子U-18日本代表チームについて**（堀井理事）

2014年8月19日～28日に開催される「第28回FIBA ASIA U-18男子選手権大会」、および2014年8月25日～27日に開催される「第22回日・韓・中ジュニア交流競技会」に出場するU-18日本代表チームの候補選手30名およびスタッフが提案された。尚、両大会の時期が重なることから、候補選手の中からそれぞれの大会に派遣する選手を選考すること、また、日・韓・中のスタッフについてはサポートスタッフを中心に編成することが補足され、原案通り承認された。

<承認>

(9) **女子U-17日本代表について**（高橋理事）

2014年6月22日～28日に開催される「第3回FIBA U-17世界選手権大会」に派遣するU-17日本代表チームのスタッフおよび選手12名が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(10) **FIBA ASIA役員派遣について**（堀井理事）

役員改選を含むFIBA ASIA総会が6月末に開催予定となっているが、開催期日および候補者の推薦期限が未定であるため、また、JBAの役員改選後速やかに候補者の選考を行うため、候補者の選考を常務理事会に一任することが提案された。尚、原則、会長または副会長を推薦する予定であることが補足され、承認された。

<承認>

(11) **FIBA決定に基づく「シャンソン化粧品」のFIBA内規違反」に対する答申について**（堀井理事、山見裁定委員会、望月裁定委員会委員）

「シャンソン化粧品の若年者移籍に関するFIBAの決定」に記載のシャンソン化粧品の行為について、裁定委員会における調査審議の結果、シャンソン化粧品に対して、「戒告」および「212万円の賠償金の支払い」を科する旨の答申があり、原案通り承認された。

<承認>

4. 報告事項

(1) **総務部**（堀井理事）

今後の理事会および評議員会の予定、東日本大震災復興支援義援金から岩手県、宮城県、福島県の各県協会に100万円ずつ拠出することが報告された。また、今年度の登録証の発行にあたって一部印刷ミス等あったことの報告とお詫びがあった。

(2) **事業戦略部** (吉田(長)理事)

2014年7月19日～21日に開催される男子日本代表国際親善試合の概要および女子日本代表のオフィシャルスポンサーとしてJXホールディングス株式会社およびJX日鉱日石エネルギー株式会社と3年契約を締結することになったことが報告された。

(3) **競技会委員会** (庄司理事)

「NBL 2013-2014プレイオフ」、「内閣総理大臣杯争奪第42回日本車椅子選手権大会」および「第37回李相佰盃日韓学生競技大会」の結果が報告された。

(4) **審判委員会** (堀井理事)

第1次A級(男性)指名強化合宿、A級強化合宿(男性フレッシュマン研修)の2次合宿推薦者および審判員の海外派遣予定が報告された。また、2015年4月以降のルール改定において、ユニフォーム(パンツ)の丈が制限される予定であり、日本での採用時期等については今後協議を行う予定であることが報告された。

(5) **男子ナショナル委員会** (堀井理事)

6月10日からの日本代表活動スタートにあたり、FIBA ASIAカップまでは今年度の候補選手のうち16名に絞り強化活動を行っていくこと、その後のジョーンズカップについては、若手を中心にしたメンバーで臨むこと、さらにそれまでの活動を踏まえた上でアジア競技大会に向けたメンバー編成を行う予定であることが報告された。

また、アンダーカテゴリーの活動に関し、4月に行った「第27回アルバート・シュバイツァー・トーナメント」のレポート、6月13日～17日に行われるバスケットボール・ウィズアウト・ボーダーズ アジア2014」に角野亮伍(藤枝明誠高3年)および渡邊大我(新潟県立新潟商業高3年)の2名を派遣する予定であること、U-17世界選手権の派遣について、スケジュール調整等は行ったものの、派遣選手はインターハイ決勝戦の参加は断念せざるを得ないことから選手の所属高校には改めて協力要請を行っていくことが報告された。

さらに、来日したFIBAのゾラン・ラドビッチ強化部長は、JBAとのミーティングの他、NBL、bjリーグの関係者とそれぞれ面談を行ったこと、また、大学生以下の強化体制、下級生の試合出場、ミニ・中学でのスキルアップ、大会スケジュールなどいくつかの点について指摘と助言があったことが報告された。

(6) **テクニカル委員会** (佐々木理事)

コーチコミッティーグループ関連では、6月28日～29日、7月5日～6日にスペインから講師を招き、「全国バスケットボールコーチクリニック」を開催する予定であることが報告された。

エンデバーグループ関連では、ブロックエンデバーのリフレッシュ研修への位置付けの整理を行ったこと、ジュニア世代のコーチの育成として新たな制度を検討中であること、U-18男子トップエンデバーの実施時期の移行について今年度は移行しない旨の再通知を行うことが報告された。

また、JBA公認B級コーチ養成講習会の推薦基準等についての確認があり、今年度の実施内容および今後の展開について改めて報告することとなった。

(7) **国体委員会** (野村理事)

長崎国体から実施する予備登録制度について、開催県の扱いを追加した内容で都道府県に通知を行うこと、長崎国体における試合球が決定したこと、また、日体協より国体における参加負担金の調査があり、国体委

員会での検討後、次回理事会に提案する予定であることが報告された。

(8) その他 (丸尾副会長)

NBL・NBDLの2013-2014シーズン終了に伴い、結果、アワード、入場者数などが報告された。

(9) その他 (原田理事)

「麻生会長理事会(2008年～2014年)6年間の総括」として原田理事により資料が提出された。

以上